

学校だより

NO. 1

〒098-2501
 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1
 電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838
 e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www.otoineppu-h.ed.jp/

更なる魅力ある学校づくりを目指して

校長 菊地 裕幸



保護者の皆様並びに地域の皆様方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から、本校の教育活動について多大なる御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。長く厳しかった音威子府の冬の寒さも和らぎ、春の訪れを告げる優しい風が心地よい時期を迎えました。

このような中、4月9日に入学式を挙行し、新たに36名の新生入生を道内及び道外から迎え、生徒総数110名で新年度をスタートすることができました。本校2年目の校長として、「夢を語り感動があふれる学校づくり」と「実現したい未来のために」を学校経営スローガンに掲げ、①美術工芸の学びを通じた質の高い教育活動の推進 ②確かな学力の育成 ③豊かな人間性の育成 ④社会に開かれた教育課程の理念の実現に向けた取組の推進 ⑤持続可能な社会の創り手の育成と地域と連携・協働を図り、「おと高」の特色化・魅力化の推進を学校の経営方針としました。これらを実現するため、教職員一同全力で教育活動に取り組み、子供たちに必要な資質・能力を身に付けてまいります。

さて4月から、本校生徒の服装が自由化(制服着用も可)されます。このことは、平成30年(2018年)3月、文科省からの通知による保護者等の経済的負担についてや、令和3年(2021年)6月、文科省からの事務連絡による校則等の見直し等について、令和4年(2022年)12月、生徒指導提要が改訂されたことなどを受け、身だしなみ検討委員会が令和3年度の後半から本校の制服の在り方について検討しておりました。学校教育目標の具体にも示されている、「個性を生かし、豊かな自己表現を目指す」ことや、スクールポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)で示されている、「あらゆる教育活動を通じて主体的に学ぶ姿勢と、豊かな自己表現能力を育てる」ための取組として、生徒が主体となり考え行動することとなりま

す。また、生徒が創り出す素晴らしい作品の数々を、地域との連携・協働を通し価値付けしていくとともに、多くの方々に広く知っていただく取組も進めてまいります。

今年で74年目を迎える「おと高」。今後も地域の期待に応え、本校が持続的に発展することができるよう、皆様方には変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



●新たに2名の教職員を迎え、新年度スタート

新しく「おと高」に赴任された2名の教職員を紹介します。

教諭 野村 幸伸 先生



縁あって、春再々本校にて美術工芸を担当させていただくことになりました。以前は、平成10年に校名が音威子府高校の時からでした。音威子府を離れ深川市や札幌市東区の高校での教育に関わる中で地域の課題をデザインの手法を用いることで何かが出来ると考え取り組んできました。音威子府での出来た形のあるものを通して人との関わり作りが出来ない環境となり、最初は手詰まり感を感じていました。それからデザインの考え方を様々な分野と関

係を作ると何かが出来ると思い取り組んでいました。これは音威子府で生徒たちと共に「ものづくり」に関わった時間が無ければ、その考えには至らなかったことです。「遠回りして考える」、「解決の答えは必ずある」、「視点を変えれば答えが見つかる」など生徒に向け話していた言葉です。心機一転、新たなスタートとなる自身ですが、モノ(創作物)とヒト(社会)との繋がりが暮らしの中に豊かさをもたらすことを伝えていきたいと思ひます。それでは、よろしくお願ひいたします。

教諭 諏訪 円佳 先生



この度、苫小牧市立豊川小学校より着任致しました。担当教科は国語になります。高校での勤務は初めてで、不慣れなことも多いですが、生徒としっかりと向き合い、寄り添っていけるようにしたいと考えております。授業では、自分の考えをしっかりと持ち、表現できるよう指導していきたいと考えております。学校生活や行事、寮生活などを通して、子どもたちが成長し、一人ひとりの夢が実現できるように支え、私自身も色々なことを学ばせていただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

●おと高 Story

《おと高インスタ、始めました》

おと高生の日常をお届けする「おと高ブログ」に加え、動画配信もできるように、「おと高公式インスタ」ページを開設しました。「おと高生」の今をご紹介しますので、是非フォローをお願いします。



おと高 Instagram



《高校生活における服装の自由化》

自由な自己表現と他者への配慮を両立する「おと高生らしい身だしなみ」を見いだすべく、令和4年に本校生徒有志と教員とで構成する「身だしなみ検討委員会」が発足しました。そして令和6年4月、次のとおり、服装を自由化することとしました。

自由と共に責任を持って高校生活を送ろうとする「おと高生の意気込み」を、是非ご理解ください。

令和6年度4月から おと高の服装が変わります

おとねっぴ美術工芸高校身だしなみ検討委員会

Q1 どうして変わるの?

1. 服装を考えることを通して、社会性・協調性を育み、責任をもって判断できる人間を目指す。

2. 個人の自己表現、服装選択の自由を保障するため。

3. 制服購入による費用の軽減。

4. 学校教職員の業務負担の軽減。

以上の理由から、おと高は「自由な服装を選択できる学校」へと生まれ変わります。

Q2 どう変わるの?

これまでの制服を基本とした服装から、

■ 指定制 (本校指定制服、■ 非公式制服...出身中学校の制服、スーツ)

■ 本校指定作業着

■ 本校指定ジャージ

■ 私服 (ジャージ・ファッション制服・ユニクロ制服含む)

いずれかを選択し、自分の好きな服装で学校生活を送ることができる「服装が自由」な学校となります。

※1 指定制として認められているものは以下の3つです。本校指定制服、非公式制服、スーツ

※2 非公式/出身中 着用で または

【その他の服装に関する授業では、運動靴を履く】

服装の詳細はこちら

●おと高 今後の主な行事

- 《5月》
 - 15日(水)：高大連携授業【1・3年】
東海大学札幌キャンパス教授を迎え、「デザインとは?」、「作品制作のあり方とは?」という問いにアカデミックに向き合う講義を受講します。
 - 29日(水)～31日(金)：宿泊研修【1年】
- 《6月》
 - 29日(土)～30日(日)：木の手づくり展 in 旭川 10:00～17:00、場所は「旭川市民文化会館」
- 《7月》
 - 20日(土)～21日(日)：学校祭
一般開放あり、おと高生の「アート」を満喫しませんか。工芸品等の販売を予定(詳細未定)。
 - 26日(金)～28日(日)：木の手づくり展 in 札幌
初日のみ15:00～17:00、10:00～16:00、場所は「かでる2・7」

子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体調などの学校教育に関する悩み、子育て・レクナと家庭教育に関する悩みなどを相談してください。

●電話相談 ☎ 0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp ※急ぎの場合は電話相談をご利用ください。

●来所相談 こども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階 ※上記の電話相談で予約してください。(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)